

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

なし

応募概要	分野	音楽	種目	オーケストラ等
	応募区分			一般区分
	複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	提案したいずれか1企画のみ実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	こうえきしやだんほうじんひろしまこうきょうがくきょうかい				
	制作団体名	公益社団法人広島交響楽協会				
	代表者職・氏名	理事長 妹尾雅雄		団体ウェブサイトURL <a href="http://hirokyo.or.jp/">http://hirokyo.or.jp/</a>		
	制作団体所在地	〒 730-0842	最寄駅(バス停)	舟入本町 (広島電鉄)		
	広島市中区舟入中町9番12号 舟入信愛ビル					
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/>	※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です			
	ふりがな	ひろしまこうきょうがくだん				
	公演団体名	広島交響楽団				
	代表者職・氏名	音楽監督 クリストイアン・アルミング		団体ウェブサイトURL <a href="http://hirokyo.or.jp/">http://hirokyo.or.jp/</a>		
	公演団体所在地	〒 730-0842	最寄駅(バス停)	舟入本町 (広島電鉄)		
	広島市中区舟入中町9番12号 舟入信愛ビル					
	制作団体 設立年月	1963年 10月				
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等			
	会長:池田晃治、理事長:妹尾雅雄、専務理事:花谷尚二、常務理事:畠中修 ほか理事:31名 事務局14名		音楽監督1名、コンサートマスター4名、公募のオーディションにより採用の楽団員72名(現在、空席14名) 計77名			
	事務体制 事務(制作)専任担当者の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	宇津志忠章(事業課長)		
	経理処理等の監査担当の有無	有	経理担当者	畠中修(常務理事)		
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス	電話番号			
		utsushi@hirokyo.or.jp	09028642224			

## 制作団体の実績

### 制作団体沿革・主な受賞歴

昭和38年10月、「広島市民交響楽団」として発足。昭和44年に「広島交響楽団」に改称。昭和47年9月には運営組織が社団法人「広島交響楽協会」の認可を受けプロの楽団として改組。広島交響楽協会は、平成23年4月に公益社団法人に移行。

楽団創立指揮者の井上一清の後を受け、渡邊暁雄、高関健、田中良和、秋山和慶、下野竜也が歴代の音楽監督職を務め、令和6年度からは、楽団史上初となる外国人指揮者、クリスティアン・アルミンクが音楽監督に就任。より幅広い活動の展開と発信力の獲得を目指し、世界的な指揮者、ソリストとの共演にも取り組んでいる。平成27年8月の終戦・被爆70年の事業として行った「平和のタベ」コンサートを東京のサントリーホールでも開催。ソリストにピアニストのマルタ・アルゲリッチを迎えた同公演は、天皇・皇后両陛下ご臨席も賜り大きな注目を集めものとなった。「平和のタベ」コンサートは、戦後80年となる令和7年度も東京・大阪でもを開催した。

国際平和文化都市である広島を拠点とするオーケストラとして文化による平和発信も楽団のテーマとしており、1991年の「広響国連平和コンサート」としてのウィーン、プラハでの初の海外公演以降、1997年フランス(ルーアン、ル・アーブル)「ノルマンディーの10月音楽祭」、2003年ロシア・サンクトペテルブルク「サンクトペテルブルク建都300周年記念事業」、2005年韓国(ソウル、プサン、テグ)「日韓友情年2005」、2019年ポーランド(ワルシャワ)「ショパンと彼のヨーロッパ音楽祭」などで世界各地でも演奏し、平和と希望のメッセージを発信している。

これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞」「第51回ENEOS音楽賞洋楽部門奨励賞」を受賞。

### 学校等における公演実績

小学校から高校生を対象とした「オーケストラ音楽鑑賞教室」を年間20～30公演、学校の体育館や公共ホールで実施しています。また、子供たちや地域の方々に質の高い実演芸術を身近にお届けする地域貢献事業「音楽の芽プロジェクト」の一環として、青少年とその家族を対象とした未就学児の入場も可能な「マイタウンオーケストラ広響」の開催や、広島市などと連携した児童・生徒を対象としたワークショップやアウトリーチ活動を実施しています。

#### 《令和5年度実績》

オーケストラ音楽鑑賞教室 26回公演で 計11,188名の児童・生徒が鑑賞  
「マイタウンオーケストラ広響」公演 1,377名が鑑賞

#### 《令和6年度実績》

オーケストラ音楽鑑賞教室 21回公演で 計 8,329名の児童・生徒が鑑賞  
「マイタウンオーケストラ広響」公演 949名が鑑賞

### 特別支援学校等における公演実績

当団主催の音楽鑑賞教室で特別支援学校での公演実績があります。

### 申請する演目のWEB公開資料

無

### ※公開資料有の場合URL

### ※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード

ID:

PW:

別添	なし	【公演団体名 広島交響楽団】			
対象	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	小学生(中学年)	<input type="radio"/>	
	小学生(高学年)	<input type="radio"/>	中学生	<input type="radio"/>	
企画名	クイズ de オーケストラ ～ マエストロからの挑戦				
企画のねらい	作品の内容や作曲家のエピソードにまつわるクイズを出題しながら鑑賞いただくことで、より音楽への関心を持っていただく述べるきっかけとなるように構成します。				
演目概要・演目選択理由	<p>颯爽登場！いったい誰？          ①ジョルジュ・ビゼー：オペラ「カルメン」～第1幕への前奏曲          コンサート導入にふさわしい華やかな作品で幕を開けます。</p> <p>ワルツの王様、その家族はどんな人？          ②ヨハン・シュトラウス2世：ポルカ「観光列車」          ワルツの王の家族に触れて音楽家のバックグラウンドを紹介します。</p> <p>弦楽器の音色を聴いてみよう！          ③オーケストラの楽器紹介(弦楽器)          弦楽器、それぞれの音色を聴いていただきます。</p> <p>どんな方法で演奏している？          ④ルロイ・アンダーソン：プリンク・プレンク・プランク          各弦楽器の紹介に続いて、アンサンブルによる弦楽器の魅力に触れていただきます。</p> <p>管楽器と打楽器の音色を聴いてみよう！          ⑤オーケストラの楽器紹介(管楽器、打楽器)          木管楽器、金管楽器、打楽器の音色を聴いていただきます。</p> <p>活躍するのはどの楽器？          ⑥アントニン・ドヴォルザーク：スラヴ舞曲第7番          管楽器が活躍する軽快な作品をお楽しみいただきます。</p> <p>この曲は、いったい何拍子？          ⑦ピョートル・チャイコフスキイ：交響曲第6番～第2楽章          拍子について触れて、音楽を構成する要素を感じてもらいます。</p> <p>どんな世界が待っているかな？          ⑧ロバート・シャーマン、リチャード・シャーマン：イッツ・ア・スマールワールド          いろいろな地域風の音楽でメドレーに編曲した作品で、オーケストレーションによって印象が変わることを伝えます。</p> <p>あなたも名指揮者！指揮者体験コーナー<sup>⑨</sup>          指揮者体験(体験曲目 ジャック・オッフェンバッハ：「天国と地獄」序曲～カンカン より 1分程度抜粋)          児童・生徒の代表に指揮の体験をしてもらい、オーケストラにおける指揮者の役割りを伝えます。</p> <p>ミステリー好きの作曲家が残した謎は？          ⑩エドワード・エルガー：威風堂々第1番          オーケストラならではの華やかな名曲を締めくくりに鑑賞いただきます。</p> <p>みんなの校歌をオーケストラと歌おう          ⑪校歌          校歌をオーケストラに編曲して演奏し、児童・生徒の歌唱と共に演させていただきます。</p>				
	児童・生徒の参加または体験の形態	<p>コンサートの中で触れるクイズの回答用紙を用意し、みなさんに能動的に参加していただきまけるようにします。          ⑨では、児童・生徒の代表に指揮を体験していただきます。          ⑩では、オーケストラの演奏で、児童・生徒に校歌を歌っていただき共演します。</p>			

容 器	児童・生徒の 参加可能人数	本公演	参加・体験人數目安	全校児童・生徒(校歌歌唱)	
			鑑賞人數目安	30~500人(会場案件で収容可能な人数)	
本公演演目		『クイズ de オーケストラ ～ マエストロからの挑戦』  ①ジョルジュ・ビゼー：オペラ「カルメン」～第1幕への前奏曲 [2分] ②ヨハン・シュトラウス2世：ポルカ「観光列車」 [3分] ③オーケストラの楽器紹介(弦楽器) [6分] ④ルロイ・アンダーソン：プリング・プレンク・プランク [3分] ⑤オーケストラの楽器紹介(管楽器、打楽器) [12分] ⑥アントニン・ドヴォルザーク：スラヴ舞曲第7番 [3分]  =休憩= [10分]  ⑦ピョートル・チャイコフスキイ：交響曲第6番～第2楽章 抜粋 [5分] ⑧ロバート・シャーマン、リチャード・シャーマン：イツ・ア・スマールワールド [3分] ⑨指揮者体験 [7分] (体験曲目 ジャック・オッフェンバッハ：「天国と地獄」序曲～カンカン より 1分程度抜粋) ⑩エドワード・エルガー：威風堂々第1番 [5分] ⑪校歌 [3分] (校歌をオーケストラに編曲して演奏し、児童・生徒の歌唱と共に演)			
原作/作曲 脚本 演出/振付		公演時間 90 分			
出演者		指揮とお話：鈴木織衛、喜古恵理香ほか(公演日程により調整)  管弦楽：広島交響楽団 1stヴァイオリン:10, 2ndヴァイオリン:8, ヴィオラ:6, チェロ:6, コントラバス:4 フルート:2, オーボエ:2, クラリネット:2, ファゴット:2 ホルン:4, トランペット:2, トロンボーン:3, テューバ:1 ティバニー&パーカッション:4 ハープ:1			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名		(指揮者)鈴木織衛 … 東京藝術大学指揮科、同大学院卒。ドイツ室内管弦楽団定期演奏会でコンサート指揮者としてデビュー。2010年より13年間、オーケストラ・アンサンブル金沢専任指揮者を務めた。クラシック以外のアーティストにも信頼が厚く、森山良子、岩崎宏美、渡辺美里等のコンサートも指揮している。東京藝術大学指揮科講師。  (指揮者)喜古恵理香 … 東京音楽大学音楽学部作曲指揮専攻(指揮)及び同大学大学院指揮研究領域に学ぶ。これまでに指揮を広上淳一、汐澤安彦、下野竜也、田代俊文、三河正典、ピアノを野中正、野田清隆、音楽理論を伊左治直の各氏に師事。2022年、次世代指揮者コンクール本選第3位およびオーケストラ賞、聴衆賞を受賞			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人數 含む	出演者: 58 名 スタッフ: 6 名 合 計: 64 名	運搬	積載量: 4 t 車 長: 9.69 m 台 数: 2 台		
本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の目安	前日仕込	無	前日仕込所要時間		時間程度
	到着	仕込	上演	内休憩	撤去
	10:00	10:00～12:00	13:30～15:00	10分	15:00～16:00
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。				

本公司 実施可能日数 目安  ※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められ ません)。	6月	7月	8月	9月
	5日			
	10月	11月	12月	1月
	9日		4日	3日
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。		計	21日

本公司・ワークショップの内容



公演に係るビジュ  
アルイメージ  
(舞台の規模や演出  
がわかる写真)

※会場条件につ  
いて最低限必要  
な条件がある場  
合には、様式  
No.4内「会場簡  
易図面」を記載し

【公演の様子】

- 舞台は使用せず、舞台下のフロアで演奏いた  
します。
- オーケストラに必要な広さは、間口22m ×  
奥行10m です。
- 児童・生徒はオーケストラから2m程度離れた  
ところからお座りください。



著作権、上演権等 の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要 否		該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある 場合	権利者名		許諾確認状況	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名

広島交響楽団

】

ワークショップのねらい	<p>ワークショップでは、プロの演奏者による楽器の実演を交えて、オーケストラや本公演で取り上げる作品の解説をわかりやすく行うことにより、楽器やオーケストラに興味を持っていただき、本公演の内容への関心を高めることをねらいとしています。</p> <p>また、楽器に触れてもらうなど、児童・生徒がより近い距離で演奏者と接することで、演奏者との交流を深めます。演奏者にも親しみを感じていただく中で、より一層、オーケストラと本公演への期待を持っていただける内容とさせていただきます。</p>		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人數目安 40人程度を想定(学校任意で調整可能)
ワークショップ実施形態及び内容	<p>オーケストラの演奏者数名を派遣し、オーケストラの編成やオーケストラで使われている楽器について、実演を交えてお話させていただくことで演奏者やオーケストラに関心を持っていただきます。また、本公演で演奏する演目についても紹介させていただき、作品の魅力や鑑賞の手がかりを感じて頂きます。リズム遊びや実際に触れて頂ける楽器も用意するなどして、体験型の内容も企画いたします。</p> <p>本公演の校歌で、器楽演奏による児童・生徒の演奏参加も希望される場合は、演奏指導などにも対応させていただきます。</p> <p><b>【進行事例】</b>  ※授業区分2コマで実施  ※派遣する演奏者の組み合わせによって進行内容が変わる場合がございます。</p> <p>〈前半〉オーケストラってなんだろう？</p> <p>①導入の演奏とオーケストラの紹介 [10分]  ②楽器とその役割についてのお話① [35分]</p> <p>演奏者による実演をまじえて、オーケストラで使われる楽器を 弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器に分けて、それぞれの役割を紹介します。体験用楽器に実際に触れていただくこともできます。</p> <p>～ 休憩～</p> <p>〈後半〉コンサートで聴くのはどんな曲？</p> <p>③楽器とその役割についてのお話② [15分]</p> <p>オーケストラのコンサートホールでの演奏なども動画で見ていただき、オーケストラのふだんの活動の様子も紹介します。</p> <p>④本公演で演奏する作品と作曲家の紹介 [20分]</p> <p>本公演で演奏する演目や作曲家について、抜粋演奏などを交えて紹介するほか、作品で使われるリズムなどを素材にしたリズム遊びなどで興味を持って本公演を迎えるようにします。</p> <p>⑤質問コーナー・クロージング [10分]</p> <p>ワークショップのまとめと、児童・生徒からの質問に答えます。</p>		

その他ワークショップに関する特記事項等



ワークショップの様子

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 広島交響楽団】

記載方法等	例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。				
	・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。				
	・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。				
	・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。				
	上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。				
	任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。				
	詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。				
	なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。				

会場条件	(必須) 公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。				
	会場の設置階の制限	2F以上不可	主幹引き込み電源容量	特になし	A以上
	舞台設置面積	間口 高さ	20 m 特になし m	奥行	10 m
	舞台設置場所	フロア対応	可	学校のステージでの対応	不可
	搬入間口の広さ	幅	1.8 m	高さ	2 m
	遮光の要否	遮光要件なし	縦帳の要否	有無のみ確認したい	
	ピアノの使用について	あれば必要に応じて使用する	ピアノを使用する場合の設置位置の指定	なし	
	搬入車両(トラック等)の横づけ	必須	トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離	m以内	
	搬入車両の種類	大型トラック	台数	2 台	
	搬入車両の大きさ	車幅	2.5 m	車長	9.7 m
	備考				

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報	(任意) 学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。				
	会場図面の提出要否	要			
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	大型バスの校内への乗り入れ実績の有無			

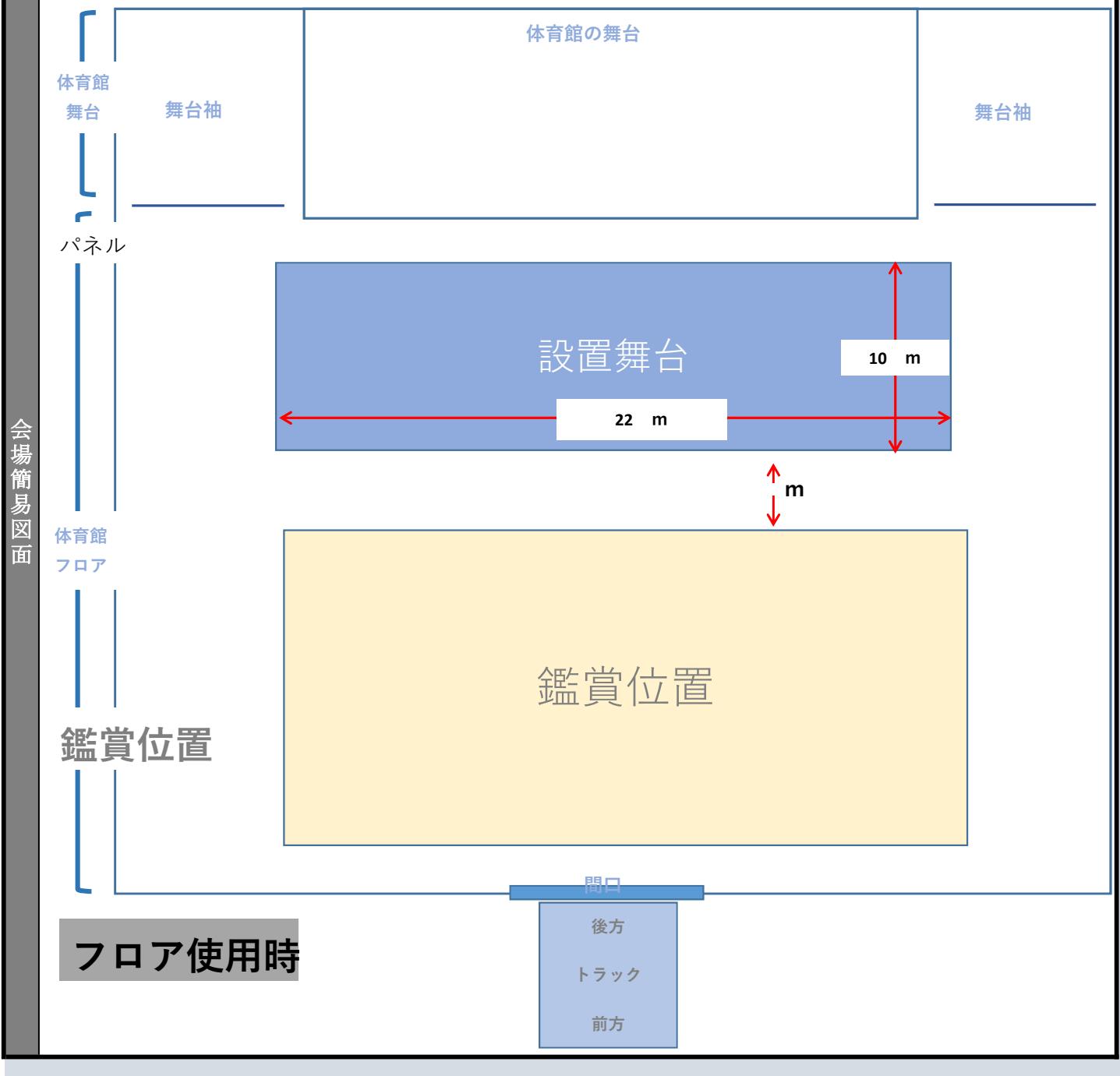
時間外対応	<p><b>(任意)</b> 万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。</p> <p>なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。</p> <p>※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。</p>					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
	ワークショップ					
	本公演					
本公演						

個別確認事項	<p><b>(任意)</b> 上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。</p> <p style="text-align: center;">個別ヒアリング事項</p>	
	1	
	2	
	3	

(任意)

会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。



別添

なし

【公演団体名】

広島交響楽団

1

本事業への応募理由等	<p><b>本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫</b></p> <p>【本事業を通じて実現したいこと】</p> <p>文化芸術に触れる中で培われる発想力やコミュニケーション能力は、文化的な人間の育成はもちろん、幅広くより良く豊かで高度な社会の形成のためにも万人に必要とされるものです。特に未来の文化や社会の担い手となる子供たちにとって、文化芸術に直接触れる機会は発育過程において非常に重要であると考え、質の高い音楽文化に直接的に触れていただくことで、豊かな創造性の獲得の端緒となることを期待しています。</p> <p>文化芸術振興基本法の基本理念にある通り、経済や地域の格差なく文化芸術を鑑賞する機会を提供できることが理想であり、「全国の小学校・中学校等においてトップレベルの文化芸術団体による巡回公演を行うことを通じて、将来を担うすべての子供たちの豊かな感性を育む場を作り、芸術鑑賞能力の向上を図るとともに、文化的な地域格差の解消を促進することを目的」として実施される本事業は、実施先の規模や状況に影響されずに文化芸術の鑑賞・体験機会を均等に提供するものであり、当団としても創立当初から取り組んできた音楽文化の普及への大きな機会になるものと捉えて、取り組ませていただいている。</p> <p>未来の担い手となる子供たちの周りに多様な文化が溢れているということは、私たち芸術団体が切に望む社会の有り様であり、微力ながらも本事業の主旨に貢献できればと考えています。</p> <p>【上記の実現に向けて、実施の工夫】</p> <p>音楽の実演分野の中でも多数の演奏者と楽器群を有するオーケストラという分野は、他の演奏形態以上に表現力の可能性や聴覚上の圧倒的な体験をもたらす可能性があるもので、より一層の効果が期待できるものと考えています。これまでの活動の実績からそうしたオーケストラの魅力が体感していただけたる演目を選択して提供させていただきます。</p> <p>また単なる鑑賞にとどまらず、実際に楽器に触れて頂くなどの参加体験の機会も通じて、本分野への興味を一層喚起していただくことで、児童・生徒にとって、より能動的な経験となるように取り組みます。</p> <p>【学校との連絡調整について】</p> <p>学校と密なコミュニケーションを取るように取り組んでまいります。実施校決定後には、事前に学校側の準備内容などの資料をお送りし、電話・メールでも説明差し上げた上で、ワークショップ訪問の際には本公演についての打合せを直接行わせていただきます。特に、申請時から実施校の校長や担当教諭が代わられた場合には、改めて事業趣旨についてご案内差し上げ、十分にご理解いただくよう努めます。</p> <p>【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】</p> <p>音楽の魅力が十分に伝わる選曲を行い、フル編成のオーケストラで質の高い演奏を届けることで、子供たちの感性を刺激し、音楽やオーケストラに対する関心を持ってもらうように企画しています。</p> <p>また、児童・生徒の参加体験の内容については、親しみやすさと分かりやすさに重点をおき、より積極的に音楽に係ることの楽しさを感じて頂くことで、演奏鑑賞の体験を補完します。各校における事案もあるかと思いますので、打合せ時には学校への事前のヒアリングも行い、全般的に必要に応じて柔軟な対応がとれるように留意いたします。</p> <p>【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】</p> <p>事業実施後に開催校の先生とお話しする機会があった際に、本公演で子供たちに好ましい大きな影響が見て取れたので、その感覚が持続するように事後にも演奏家との交流を図る機会があればとのご要望がありました。</p> <p>直接、再訪問してすることは難しい場合もありますが、オンラインで子供たちからの質問に答えるなどの交流を重ねていく取り組みは提案させていただきたいと考えています。</p>
	<p><b>事業を適切かつ円滑に実施するための工夫</b></p>
	<p>【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】</p> <p>音楽の魅力が十分に伝わる選曲を行い、フル編成のオーケストラで質の高い演奏を届けることで、子供たちの感性を刺激し、音楽やオーケストラに対する関心を持ってもらうように企画しています。</p> <p>また、児童・生徒の参加体験の内容については、親しみやすさと分かりやすさに重点をおき、より積極的に音楽に係ることの楽しさを感じて頂くことで、演奏鑑賞の体験を補完します。各校における事案もあるかと思いますので、打合せ時には学校への事前のヒアリングも行い、全般的に必要に応じて柔軟な対応がとれるように留意いたします。</p>
	<p>【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】</p> <p>事業実施後に開催校の先生とお話しする機会があった際に、本公演で子供たちに好ましい大きな影響が見て取れたので、その感覚が持続するように事後にも演奏家との交流を図る機会があればとのご要望がありました。</p> <p>直接、再訪問してすることは難しい場合もありますが、オンラインで子供たちからの質問に答えるなどの交流を重ねていく取り組みは提案させていただきたいと考えています。</p>
	<p>【本事業を通じて実現したいこと】</p> <p>文化芸術に触れる中で培われる発想力やコミュニケーション能力は、文化的な人間の育成はもちろん、幅広くより良く豊かで高度な社会の形成のためにも万人に必要とされるものです。特に未来の文化や社会の担い手となる子供たちにとって、文化芸術に直接触れる機会は発育過程において非常に重要であると考え、質の高い音楽文化に直接的に触れていただくことで、豊かな創造性の獲得の端緒となることを期待しています。</p> <p>文化芸術振興基本法の基本理念にある通り、経済や地域の格差なく文化芸術を鑑賞する機会を提供できることが理想であり、「全国の小学校・中学校等においてトップレベルの文化芸術団体による巡回公演を行うことを通じて、将来を担うすべての子供たちの豊かな感性を育む場を作り、芸術鑑賞能力の向上を図るとともに、文化的な地域格差の解消を促進することを目的」として実施される本事業は、実施先の規模や状況に影響されずに文化芸術の鑑賞・体験機会を均等に提供するものであり、当団としても創立当初から取り組んできた音楽文化の普及への大きな機会になるものと捉えて、取り組ませていただいている。</p> <p>未来の担い手となる子供たちの周りに多様な文化が溢れているということは、私たち芸術団体が切に望む社会の有り様であり、微力ながらも本事業の主旨に貢献できればと考えています。</p>